大崎第一地域ニュース
はなぐるま
第151号
2021.2.20発行
WEBにも掲載しています。

編集　はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田3-6-3
TEL:3491-2000
saki1c@city.shinagawa.tokyo.jp
発行元　大崎第一地域センター

かるたに見るわが街、しながわ

地元の品川区には、前号でご紹介しましたように二つのかるたがありますが、今号からは区内全般の歴史や文化を対象としている「しながわ歌留多」を中心にご紹介させていただきます。なおテーマが重なっている場合は「品川ふる里かるた」もご参考として併記いたします。

～しながわ歌留多～
あ あでやかな　おいらん道中　花の街
～品川ふる里かるた～
あ 商店街を　しずしず歩む　おいらん道中

コメント：「おいらん道中」とは、江戸時代に最高位の遊女（花魁）が豪華に着飾り、禿（かむろ）などを引き連れて、馴染み客を迎えに外八文字の足運びで廓の中の茶屋を行き帰りしたことに、あるいは花魁となる日などの特定の日に限って遊郭の中を同様に練り歩いたことを言います。なお、毎年9月に行われている「しながわ宿場まつり」では“江戸風俗行列”の中でもその豪華さなどで特に人気のイベントです。（昨年はコロナ禍のため同まつりは中止となりました。）

（編集長　久保田）

～しながわ歌留多～
い 家光に　たくあん献上　東海寺
～品川ふる里かるた～
あ あじさいに　座禅ひととき　東海寺

コメント：家光＝江戸幕府の3代将軍である徳川家光（1604年8月12日～1651年6月8日）のこと。たくあん献上＝将軍家光が懇意にしていた東海寺住職の沢庵和尚に「何かうまいものを食わせてくれ」と所望したところ、和尚は、家光を極限の空腹にさせた状態にして質素なたくわえ漬けだけの食事を差し出し、これを食した家光が「このうまい漬物はなんだ」と問い、和尚が「たくわえ漬けという大根のぬか漬けです」と答えると家光が「これからはたくわえ漬けではなく沢庵漬けと称するがよかろう」という逸話。因みに東海寺は沢庵のために家光が建立したという説があります。

（編集委員　中村）

～しながわ歌留多～
う 浮世絵に　花見桜の　御殿山
～品川ふる里かるた～
わ 湧水が　あふれでている　御殿山

コメント：昔から自然豊かな場所だった御殿山は、江戸時代初期に徳川将軍家が鷹狩りの折に使った御殿があったことにちなみ、その名がつきました。また多くの桜を移植し、眼下に品川の海を見ながら桜を愛でる名所となったことは、歌川広重らの浮世絵からもわかります。現在も御殿山トラストシティ内の御殿山庭園などで桜を見ることができます。また現在、新校舎となった御殿山小学校では昔、湧き水が流れていたことが言い伝えられています。

（編集委員　小林）

ご自由にお取りいただけるよう、多数部の回覧をお願いいたします。

地域で活躍するクラブやサークルの紹介記事を募集しています！